

(書式 2)

## 学会参加報告書

提出日 2018年7月17日

学籍番号	18PMA23	学系	トレーニング科学系
氏名	坂詰和絵		
学会等名 (正式名称)	The 8 <sup>th</sup> International Congress of Asian-South Pacific Association of Sport Psychology		
開催日程	2018年6月29日 ~ 2018年7月3日		
開催場所 (国・都市名)	Keimyung University, Daegu, Republic of Korea		
発表演題名	The effects of Emotional Intelligence on Collective Efficacy; Focusing on Attributes of collegiate athlete		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p>&lt;学会の全体の印象&gt; 予想よりも参加人数が少なく、会場も小さかった。しかし、口頭発表やシンポジウムは、興味深い内容が多かった。お互い母国語でない英語での発表だったため、私が戸惑っていても、理解しようと寄り添ってくださる方が多く、学会全体において、柔らかい印象を受けた。</p> <p>&lt;自分の研究と関連した発表とその内容&gt; [The Mediating Effects of Emotion on the Relationship between Perfectionism and Team Efficacy in Professional Soccer Players]という研究では、プロサッカー選手における完璧主義とチームエフィカシーとの関係に及ぼす感情の媒介効果について検討していた。その結果、完璧主義は感情とチームエフィカシーに影響を与えており、完璧主義とチームエフィカシーとの関係には感情が媒介効果を有するということが明らかになっていた。また、過度の完璧主義は否定的なパフォーマンスに繋がることを示唆していた。</p> <p>&lt;自身の発表への質問・コメント&gt; 6名の方から質問をいただき、他にも興味を持ってくださっている方が多くいた。質問内容は、使用した質問紙の項目や因子の内容について、ポスターには記載していない部分の考察、印象的な結果についてであった。また、「集団効力感が高まる過程で情動知能が獲得される」という逆の考え方もあるというアドバイスや、「おもしろい研究だと思う」とのコメントもいただき、実りある発表であった。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。